

■ コメント

1. 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は52件(男性27件、女性25件)となりました。年齢階層別報告数は、20～40代が全体の88.5%を占めています。

広島市では2015年以降、報告数が増加しています。感染が疑われる症状が見られた場合には、早めに医療機関を受診し、相談しましょう。

2. RSウイルス感染症

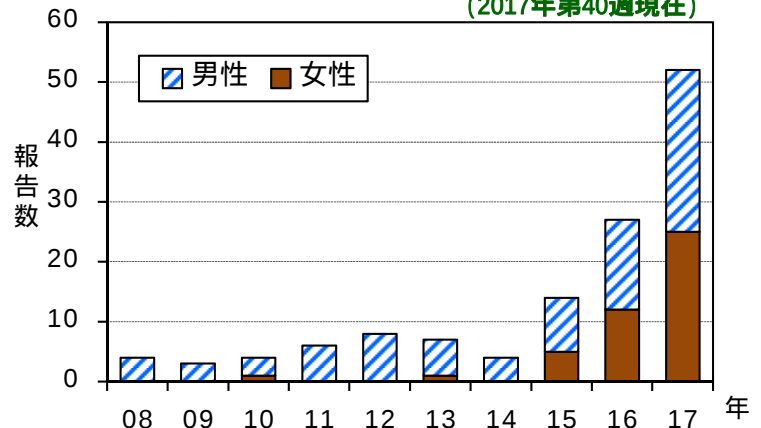
定点当たり1.71人と、前週と比べて減少しました。(次頁参照)

3. インフルエンザ

定点医療機関から7人(定点当たり0.19人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。

梅毒の年間報告数の推移(広島市)

(2017年第40週現在)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	7	0.19	0.07	↓	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.79	
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.32		小児科	RSウイルス感染症	41	1.71	1.19	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.21	1.38	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	88	3.67	3.71	↗	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.95	
	水痘	10	0.42	0.56		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	38	1.58	1.24	↗	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.14	
	伝染性紅斑	3	0.13	0.15		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	4	0.17	0.62		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.08		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	5	0.21	0.46							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5～2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね 1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇐ ⇒ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	108	女性(20歳代)
4	A型肝炎	1	2	女性(50歳代)・市外
4	日本脳炎	1	1	男性(50歳代)
4	レジオネラ症	1	20	男性(60歳代)・市外
5	梅毒	3	52	女性(30歳代)・1人、女性(40歳代)・2人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	（ロタウイルス）	感染性胃腸炎
報告数	広島市	第36週	13	14	48	86	9	45	3	10	2	15	2	92	-	3	-	-	-	-	-	-
		第37週	10	4	35	87	4	48	-	4	-	7	-	77	-	8	-	-	-	-	-	-
		第38週	6	4	32	76	12	48	-	7	-	6	4	58	-	8	-	-	-	-	-	-
		第39週	18	9	44	90	9	43	-	6	-	7	1	63	-	4	-	-	-	-	-	-
		第40週	7	6	53	88	10	38	3	4	-	5	1	41	-	3	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第36週	0.35	0.58	2.00	3.58	0.38	1.88	0.13	0.42	0.08	0.63	0.08	3.83	-	0.38	-	-	-	-	-	-
		第37週	0.27	0.17	1.46	3.63	0.17	2.00	-	0.17	-	0.29	-	3.21	-	1.00	-	-	-	-	-	-
		第38週	0.16	0.17	1.33	3.17	0.50	2.00	-	0.29	-	0.25	0.17	2.42	-	1.00	-	-	-	-	-	-
		第39週	0.49	0.38	1.83	3.75	0.38	1.79	-	0.25	-	0.29	0.04	2.63	-	0.50	-	-	-	-	-	-
		第40週	0.19	0.25	2.21	3.67	0.42	1.58	0.13	0.17	-	0.21	0.04	1.71	-	0.38	-	-	-	-	-	-
	全国	第38週	0.18	0.38	1.20	2.60	0.20	2.67	0.04	0.38	0.01	0.56	0.31	2.49	0.01	0.85	0.03	0.04	0.30	0.02	-	-
		第39週	0.21	0.41	1.53	3.08	0.24	2.36	0.06	0.44	0.01	0.58	0.39	2.28	-	1.05	0.02	0.05	0.36	-	0.01	0.01
		第40週	0.18	0.38	1.20	2.60	0.20	2.67	0.04	0.38	0.01	0.56	0.31	2.49	0.01	0.85	0.03	0.04	0.30	0.02	-	-
		第41週	0.21	0.41	1.53	3.08	0.24	2.36	0.06	0.44	0.01	0.58	0.39	2.28	-	1.05	0.02	0.05	0.36	-	0.01	0.01

■ 新たに判明した病原体検出状況

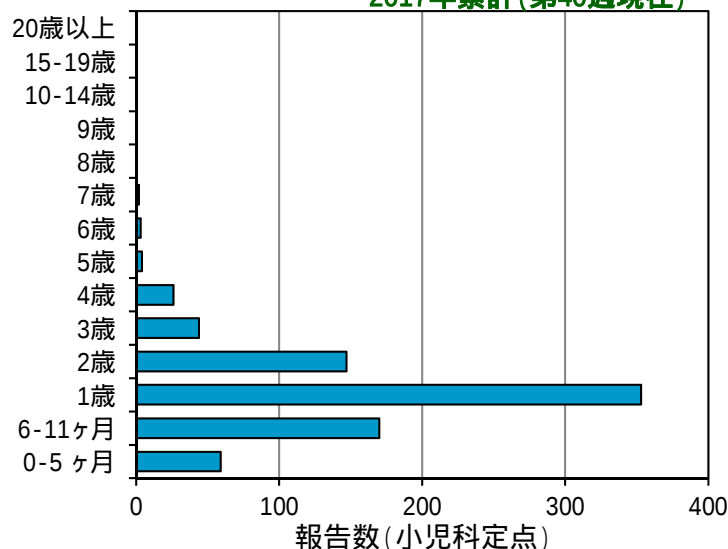
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0) 鼻炎	7	女	2017/08/26	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.7)	4	女	2017/08/31	鼻汁	コクサッキーウイルスA10型
その他の発疹性疾患	発熱(40.0) 紅斑	0	女	2017/08/25	糞便	Eコーウイルス7型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

[参考] 広島市におけるRSウイルス感染症の年齢階層別報告数(2017年累計)

小児科定点からのRSウイルス感染症 年齢階層別報告数 2017年累計(第40週現在)



RSウイルス感染症は、RSウイルスによる急性呼吸器感染症です。症状は、軽いかぜのような症状から細気管支炎や肺炎などの重篤な症状までさまざまですが、生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、感染を避けるための注意が必要です。

広島市における2017年第1～40週の小児科定点からの累積報告数(808件)の年齢階層別割合をみると、1歳(43.7%)が最も多く、1歳以下の報告数が全体の72.0%を占めています。

引き続き、咳エチケットや手洗いの励行、おもちゃやてすりなどはこまめに消毒するなど、感染予防対策を徹底しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第40週(10月2日～10月8日)